

令和3年2月10日

保護者 各位

「北山東部小よりよい教育環境づくりアンケート」の結果について

佐賀市立北山東部小学校
校長 宮原 孝子

2学期末に実施した標記調査については、ご協力いただき、誠にありがとうございました。
結果については以下のようにご報告いたします。

■ 令和2年12月実施

上段:本校保護者対象 (回答数 20)

下段:本校児童対象 (回答数 17)

■ グラフの項目



よくあてはまる



ややあてはまる



あまりあてはまらない



あてはまらない

■ 「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の割合の合計で、90%を◎、70%～89%を○、70%未満を△としています。

■ 「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の合計で、90%に満たなかった設問について、考察を記載しています。

No.	【学力の向上】	結 果	7月 → 12月
1	学校は、授業の工夫や家庭学習の取組を通して、子供に学力をつけようとしている。	保護者 児童 	◎ → ◎ 100% → 100%
	学校の勉強は、よく分かる。		◎ → ◎ 100% → 100%

No.	【ふるさとを誇りに思う教育の推進】	結 果	7月 → 12月
2	学校は、郷土のよさについて学ぶ学習に取り組んでいる。	保護者 児童 	◎ → ◎ 94% → 100%
	北山東部小学校区(地域)のじまんを2つ以上言うことができる。		◎ → ◎ 100% → 100%

No.	【いじめ防止】	結 果	7月 → 12月
3	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に向けて、子供たち一人一人に寄り添った対応をしている。	保護者 児童 	◎ → ◎ 94% → 100%
	学校は、たのしい。		◎ → ◎ 100% → 100%

No.	【安全に関する資質・能力の育成】	結 果	7月 → 12月
4	学校は、安全指導や避難訓練等を通して、子供たちに自分の命を自分で守るための力をつけようとしている。	保護者 児童 	◎ → ◎ 94% → 100%
	『自分の命は自分で守る』ために考えながら行動することができる。		◎ → ◎ 100% → 100%

No.	【学力の向上】	結 果	7月 → 12月
5	お子さんは、授業中、自ら進んで学習したり、自分の考えを発言したりしている。	保護者 42% 47% 11% 児 童 65% 29% 6%	○ → ○ 82% → 89%
	話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができる。		◎ → ◎ 100% → 94%

➡ 人は、失敗したり間違ったりしたときに学び、成長することが大きいと考えます。間違いや失敗を恐れず、進んで自分の考えを発信しながら、自分の考えをよりよくしたり、人と協働して課題解決できる子どもたちを目指しています。そのためには、子どもたちが「ここは安心して間違っていていいところなんだ」と思える教室づくり、学校づくりが重要だと考えます。

No.	【心の教育】	結 果	7月 → 12月
6	お子さんは、友達と仲良くし、思いやりの心が育っている。	保護者 42% 58% 0% 児 童 94% 6% 0%	◎ → ◎ 94% → 100%
	自分も友達も大切にしている。		◎ → ◎ 100% → 100%

No.	【あいさつ】	結 果	7月 → 12月
7	お子さんは、いつでも、どこでも、だれにでも自分から先にあいさつをしている。	保護者 28% 39% 22% 11% 児 童 59% 41% 0%	△ → △ 47% → 67%
	いつでも、どこでも、だれにでも自分から先にあいさつしている。		◎ → ◎ 100% → 100%

➡ 目指すあいさつを、再度子どもたちに分かりやすく伝え、自分ができているかどうかを自覚できるような取組を工夫していきます。あいさつは、人とつながる第一歩です。「おはようございます」「こんにちは」と声をかけられると、誰も温かい気持ちになります。あいさつが上手にできることで、人生がより豊かなものになりますし、人とのよりよい関係づくりにおいて必要不可欠です。家庭でも、あいさつを見直してみたり、大人が手本を見せたりしながら、共にあいさつのできる子どもたちを育てていきましょう。

No.	【読書・家庭学習】	結 果	7月 → 12月
8	ご家庭では、家庭学習や読書の習慣が身につくよう努めている。	保護者 37% 52% 11% 1% 児 童 76% 12% 6% 6%	○ → ○ 82% → 89%
	図書館の本を年間100冊(1・2年生150冊)以上を目指して読んでいる。		◎ → ○ 100% → 88%

➡ 子どもちの読書の評価が100%→88%の12%減でした。アンケート段階の読んだ冊数と目標冊数を比較して自分ができているかどうかの自覚ができたことの現れであると考えます。現在、目標冊数に至っていない子も、目標冊数達成に向けて努力し達成の見通しが立ってきたようです。読書を通して「いろいろなことを知ることができます。」「いくつもの世界を生きることができます。」「想像力が身につきます。」ご家庭でも、子どもたちが読書に向かう環境づくりをぜひよろしくお願いします。

No.	【学校教育目標】	結 果	7月 → 12月
9	学校教育目標(3つの目標)を知っている。	保護者 16% 68% 11% 5% 児 童 100% 0% 0%	○ → ○ 71% → 84%
	学校の3つの目標が言える。		◎ → ◎ 100% → 100%

➡ 北山東部小の3つの目標は、**①進んで学習②心と体をきたえて何事にもチャレンジ③自分も友達も大切に**です。学校だよりや各学級の学級通信にも毎回載せています。学校の全ての教育活動が、この3つの目標とつながっており、子どもたちが日々の授業をはじめ様々な活動や行事の振り返りをするときにも、3つの目標をもとに振り返っています。学校、ご家庭、地域が一体となって、変化の激しいこれからの時代を生きていくために必要な上記①②③3つの力を身に付けた子どもたちを育てていきたいと考えています。

No.	【特色ある教育の推進】	結 果	7月 → 12月
10	やまばと山村留学や全校剣道は、学校、保護者、地域が連携した魅力ある教育活動となっている。	保護者 79% 16% 5% 児童 71% 29% 0% 20% 40% 60% 80% 100%	○ → ◎ 82% → 95%
	【地元っ子】やまばと山村りゅう学(短期りゅう学、長期りゅう学)で、校区外や県外の子供たちとふれ合うことは、自分のためになっている。		◎ → ◎ 100% → 100%
	【留学生】やまばと山村りゅう学で、北山東部小学校で生活したり、地元っ子とふれ合ったりすることは、自分のためになっている。		

■自由記述では、学校に対する温かい評価やお子さんの着実な成長の様子をたくさん書いていただきました。ありがとうございました。ここでは、ご質問、ご要望、お気付きに対しての回答を載せています。

○③(いじめ防止)はどのような取組をされているのかわかりにくいところがあるので、もう少しわかりやすく取組内容を教えていただけるとありがたいです。⑦(あいさつ)については、うちの子に限らずあいさつをみなさん徹底するようにした方がよいと思います。

→いじめ防止の取組として

- 1 毎月1回の人権集会を全教職員が交代で担当し、様々なテーマについて考えさせながら「自分も友達も大切に」する態度を養っています。
- 2 ソーシャルスキルトレーニングの学習を計画的に実施し、良好な人間関係を築くための人との関わり方を身に付けさせています。
- 3 子どもたちの悩み等を早期に把握し、いじめの早期発見、早期対応につなげるために毎月1回の「心のアンケート」を実施しています。3学期からは、子どもたちの思いや嫌なことを言われたりされたりしたことをより確実に把握するために質問項目の改善に取り組んでいます。また、日常的に子どもたちの悩み等を知り、いつでも相談にのることができるように「お悩みポスト(仮名)」を設置しました。上記アンケートやポストで把握、対応したことや学校でのトラブルや気になる様子は、これまで通り、その日のうちにご家庭にお知らせし、学校とご家庭連携して解決できるようにしていきます。お子様のことで気になることがあれば、すぐに学校にご連絡ください。

→あいさつに関しては、上記設問7の考察をご覧ください。

子どもたちの日々の様子、学校の教育活動については、学校ホームページ「フォトギャラリー」で紹介しています。

<http://www.education.saga.jp/hp/hokuzantobu-e/>